

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	国語
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		次の3つの観点を設定して比較検討した。 観点1 主体的に深い学びができる編集か 学習の見通しをもつ段階から振り返りまで、「学びへの扉」を基に主体的に学習を進め、学びを深める配慮がなされている。また、「思考の地図」で思考の仕方を丁寧に示すなど、不得意な生徒にも分かりやすい編集である。 観点2 「語彙」「言葉」を大切にした編集か。 「語彙ブック」という折り込み冊子や「言の葉ポケット」などにより、目的や場面に合わせて語句の使い方やニュアンスの違いを考えたり適切な表現を模索したりすることで、語彙の拡充を図ることができる編集になっている。 観点3 生徒や教師にとって使いやすい編集か 系統性を大切にして学びを積み上げようとする意図が明確である。また、学習の手引きや重点事項の表示が充実しており、経験の浅い教師にとっても指導しやすい編集である。教材文は、定番の作品と新たな作品がバランスよく配置されているほか、読書紹介でも手厚く対応している。 以上のことから総合的に判断し、光村図書とした。
三省堂		
教 出		
光 村	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	書写
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		次の3つの観点を設けて比較検討した。 観点1 書くことの技能が高まる教科書か 中学校で初出の行書の指導について、楷書との比較によって段階を踏んで特徴を押さえるとともに、穂先の動きや筆圧の表現が分かりやすい編集になっている。 観点2 生徒の興味関心を高めようとしているか 学習内容の実生活での活用を意識付けるとともに、国語の教科書との関連が図られている。「自分らしい文字」という資料は、書写が苦手な生徒にとって大きな希望になる。また「全国文字マップ」なども、地方に住む生徒にとって心強い教材である。 観点3 生徒や教師にとって使いやすいか 取り出し冊子の「書写ブック」(硬筆練習帳)が、中学校の書写指導の実態に相応しており出色である。また、QRコードを使った動画コンテンツが充実し、学習の個別化が可能になっている。 以上から総合的に判断し、光村図書とした。
三省堂		
教 出		
光 村	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	地 理
----	-----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書	○	単元の導入段階で、小学校とのつながりを意識した問いや活動が設定されているとともに、様々な思考ツールや視点が例示されており、地理的な見方・考え方を意識して学習が進められるように配慮されている。 単元を貫く「探究課題」とそれに基づいた学習課題の設定が、生徒の対話を促し、学びを深めるための活動例が示されていることで、主体的に学ぶことができる構成となっており、秋田県の最重点課題である「問いを発する子どもの育成」が期待できる。 豊富な写真、挿絵、グラフ、表等の資料と文章が適切にレイアウトされており、学習内容を視覚的に捉えやすくなるよう工夫され、文章量も適度である。また、予想したり、学習計画を立てたりする場面が提示され、見通しをもって学習が進められるよう構成されている。
教 出		
帝 国		
文 教		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	歴史
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書	○	学習指導要領で示された内容を基に構成されており、具体的な表現でわかりやすく記述されている。 年表や写真・図・グラフなどが豊富で資料の読み取り方などの基礎的な技術を身に付けることができる。 見開きで1単位時間の構成になっていて、学習の流れが分かりやすくデザインされた構成となっている。 単元の導入からまとめの流れが課題解決型の秋田県教育方針の実現に合致している。 まとめの段階では多様な思考ツールが示されていて、考え方を身に付けることができる。 デジタルコンテンツが充実していて、生徒の主体的な学びを促すことができる。
教 出		
帝 国		
山 川		
日 文		
自由社		
令 書		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	公民
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書	○	地理・歴史の学習とのつながりを意識しながら学習に取り組むことができるよう内容が精選されている。 公民学習に必要な知識技能を身に付けるために、「知りたい」「もっと知識」「もっと解説」などのトピックを取り入れ、生徒が興味関心をもてるような内容構成になっている。 見開きで1単位時間の構成になっていて、学習の流れが分かりやすくデザインされた構成となっている。 課題解決的な学習に沿った構成となっていて秋田県教育方針の実現に合致している。 デジタルコンテンツが充実していて、生徒の主体的な学びを促すことができる。
教 出		
帝 国		
日 文		
自由社		
育鵬社		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	地図
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		地図上の文字やレイアウト、地形を表す色などが分かりやすく示されており、視覚的に捉えることが容易である。豊富な資料やQRコンテンツが、主体的な学び、個別最適な学びへとつながることが期待できる。また、索引のページは、文字のフォントや配列が適切に示されていて見やすい。 歴史的分野や公民的分野とのつながりが図られており、歴史的重要な事項や地名、持続可能な社会の実現についての資料が充実していることで、3分野の情報を関連付けて読み取ることができるよう配慮されている。 また、環境問題や自然災害、防災の取組の資料が地方ごとに掲載されており、現代的な諸課題について考察できる資料が豊富に掲載されている。
帝 国	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	数学
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		章導入や各節の問題で、問題の発見や解決の見通しにつながることを吹き出しで示したり、側注に働かせたい数学的な見方・考え方を示したり、「みんなに説明しよう」と学び合いを促すような表記をしたりすることで、生徒が主体的・対話的で深い学びを流れよく活動できるように工夫されている。また、章の初めの「学習する前に」や章末の「学習のまとめ」で基礎的・基本的内容を確認できる問題を設け、他学年や他領域と学びがつながるように配慮されている。 活用する問題では、生徒が問題発見・問題解決過程を意識して活動ができるよう、紙面の右側に「問題を見いだす」「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「振り返る」「深める」という学びのプロセスを示す構成となっている。 以上の点が、「主体的・対話的で深い学び」や問いを発する子どもの育成等の本県の教育方針に基づいていること、並びに本地区の学習状況調査の結果等から見られる実態に照らし適しているものと判断する。
大日本		
学 図		
教 出	○	
啓林館		
数 研		
文 教		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	理科
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書	○	「問題発見」から「活用」に至る探究活動の流れがステップを踏んで示されており、生徒が「理科の見方・考え方」を働かせながら、見通しを持って探究活動を進めることができるように配慮されている。 探究の各過程を大きな文字で示し、学習の流れが分かりやすく、図や写真等の資料も細部まで鮮明で、見やすい形で紙面にレイアウトされている。 一連の探究活動の流れの中に、観察・実験の結果を分析し解釈する場面や科学的な概念を使用して考えたり説明したりする場面を設定し、言語活動によって科学的な思考力や表現力が育成できるように配慮されている。 各学年の表紙と裏表紙に生徒の探究心を揺さぶる強いメッセージが込められており、探究の出発点として工夫されている。
大日本		
学 図		
教 出		
啓林館		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	音楽（一般）
----	--------

発行者	採 択	総 合 所 見
教 出		学びを深めるための視点として、音楽を形づくっている要素とその働きなどの音楽科の見方を「考えるポイント」として示しており、生徒が意見交流などを通して協働的に学びを深めることができるよう工夫されている。 また、音楽への関心を高めるために、様々なジャンルの音楽を教材として扱ったり、生徒が自ら関連する動画等にアクセスしたりできるように、豊富で多彩な二次元コードを掲載している。アクセスできる内容についても、パート別音源やカラピアノを聞くことができるなど、生徒が個別にパート練習を行う際にも有効なコンテンツとなっている。 さらに、音楽に関わる基本的な知識・技能を「音楽の約束」として整理して記載しており、生徒が立ち止まって確認し、比較しながらつなげていくことができる構成となっている。
教 芸	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	音楽(器楽合奏)
----	----------

発行者	採 択	総 合 所 見
教 出		生徒個々の興味・関心に応じ、主体的に演奏に取り組むことができるように、各教材曲において、奏法や留意点を写真や挿絵などで具体的に示している。 また、様々なジャンルの楽器の歴史的な経緯や特徴などについても丁寧に触れており、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 演奏に際して、生徒が自分自身で曲のイメージをふくらませながら表現を広げていくことができるように、演奏場面の画像や作曲家の紹介などのデジタルコンテンツが掲載されている。 鑑賞し、楽器の仕組みや特徴を知り、アンサンブルにつなげていくといった学びの流れが一貫しており、生徒が自分なりに見通しをもちながら学習を進めていくことができる構成となっている。
教 芸	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	美術
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
開隆堂		構想、制作の過程において、試行錯誤しながら表現活動する生徒の様子が掲載されており、その姿を一つのロールモデルとして、生徒自身が見通しをもちながら表現活動に取り組むことを促すことができる。 また、造形的な視点を意識できるように、鑑賞のポイントを示したり、培った視点を表現活動で活かしたりすることができるよう、一体的な題材構成となっている。 表現に必要な技法や材料、色などが別冊としてまとめられ、3年間を通して参照できる資料となっている。 日本の絵画を楽しむコーナーでは、和紙のような風合いの紙を用いており、実際の日本絵画をリアルな質感で感じることができるよう工夫されている。
光 村	○	
日 文		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	保健体育
----	------

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書	○	日常生活に関する問いから課題をもち、資料や本文に取り組むことで基礎となる知識・技能を身に付け、さらにそれを活用して課題解決に取り組むことにより、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。 表やグラフ、イラストや写真も豊富で、興味・関心や学習意欲を喚起するとともに、理解を助長する。 活用場面や終末の課題提示が具体的で取り組みやすく、理解を深めたり自他の生活につながる実践意欲を喚起したりする。 また、デジタルコンテンツが豊富でアクセスが容易であり、生徒の興味を広げ理解を深められるよう工夫されている。
大日本		
大修館		
学 研		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	技術
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		技術における問題解決の方法を身に付けることができるように、各内容とも学習の流れが「基礎・基本」「問題解決」「これからの技術」という構成で示されており、生徒が見通しをもって取り組めるようになっている。 アクティブラーニングの視点に立った授業の推進に向け、導入での動機付けや適所に配している「実験」「課題」などの活動を通して、他者と関わりながら学習を進められるようになっている、主体的・対話的に深い学びを実現できる教科書になっている。 紙面構成では、大きな写真を使い、視覚的に理解しやすい。全体的にゆったりした構成で配列が分かりやすく見やすい。
教 図		
開隆堂	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	家庭
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		ガイドンスで、学び方「主体的・対話的で深い学び」や、家庭分野で身に付く（身に付けたい）力について具体的に示すことにより、より一層学習の質を高められるよう工夫されている。 学習過程を通して多様な課題を設定し、教科書に沿って学習を展開することにより、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう構成するとともに、科学的根拠に即して生活に必要な知識が身に付くよう配慮されている。 写真やイラストの配列がわかりやすく生徒の関心を引きつけるとともに視覚的に理解しやすいよう工夫されている。 また、随所に配置されている「Q&A」や「豆知識」など、理解を深める工夫がされている。
教 図		
開隆堂	○	

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	外国語
----	-----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書	○	小学校英語からの橋渡し期のユニットに、小学校での既習単語や学習内容を復習できるコミュニケーション活動等が示されており、小・中学校の学びが円滑に接続できるように配慮されている。 目標達成に向けて4技能5領域の学習活動がスモールステップでバランスよく設定されている。 教材提示では、例えば異文化をテーマとして学習する場合に、単に網羅的に紹介するのではなく、そこに住むツアーガイドの目を通して紹介する等、学習者の興味・関心を引くような工夫がなされている。 学習者の発達段階を勘案し、身近な題材から徐々に視野が広がる教材配列となっており、3年生では環境、人権、国際協力等現代的な課題も取り入れ、内容も深い学びにつながっている。 デジタルコンテンツが充実しており、自分に合った方法で学習を進めることができるよう工夫されている。教師用デジタルコンテンツも豊富である。
開隆堂		
三省堂		
教 出		
光 村		
啓林館		

(様式)

令和7年度使用中学校教科用図書選定委員報告書

種目	道徳
----	----

発行者	採 択	総 合 所 見
東 書		本県が目指す「考え、議論する道徳」の実現のため、生徒の発達段階を考慮し、個人で考えを深め、他者と議論したくなるような読み応えのある教材を多数配置している。 いじめ問題や情報モラル、防災等、現代社会の諸課題について重点的に取り上げ、ユニットとして配置し、学びの継続性を意識した構成となっている。また、本県の重点である「生命尊重」は全学年で3つの教材を3期に分けて配置し、命や思いやりについて継続的に深く考えられるように工夫している。 対話的な学びのために、話合いが自然と生まれるような工夫や、読みの教材文だけでなく、挿絵や漫画で表現した短い教材を配置するなど、じっくりと考える時間を確保して話し合うことができるよう配慮している。 役割演技による実感を伴う議論や問いを作りながら考えを深めていく学習活動例により、多面的・多角的に思考できる工夫がある。 巻末に小学校の教材を配置したり、「まなびの記録」を添付したりと、自己の思考の成長を振り返る工夫がある。
教 出		
光 村	○	
日 文		
学 研		
あか図		
日 科		